

# 川と生きるものたち

## ～川の国 埼玉～

埼玉県マスコット  
「コバトン」埼玉県立図書館  
ウェブサイトQRコード埼玉県立久喜図書館 自然科学・技術資料担当  
埼玉県久喜市下早見85-5 Tel:0480-21-2659

埼玉県内にはどのくらい川が流れているか知っていますか？

河川面積の合計は約150km<sup>2</sup>で、なんと山手線の内側の面積のおよそ2.4倍が川ということになるのです。また、川は魚や昆虫、両生類、それらを餌にする動物など、様々な生きものが集う自然の宝庫でもあります。そんな「川の国 埼玉」にちなんで、川や水辺で暮らす生きものや、荒川や利根川といった県内を流れる川について学べる資料を紹介します。

### 目次

- 1 川のキホン    2 川の生きものたち    3 埼玉県を流れる川  
4 川に親しむ    5 川と川の生きものについて調べる

- ★ 資料は出版年月の新しい順に並んでいます。
- ★ 「請求記号」欄の[児]は児童書です。[熊]の表記は熊谷図書館所蔵の資料です。  
それ以外はすべて当館所蔵の一般資料です。当館に所蔵のない資料も、当館に取寄せすることができます。
- ★ 県立図書館の資料は、県内の公立図書館から取り寄せができます。お近くの図書館にご相談ください。
- ★ 刊行後2年を経過した雑誌は、資料保存のため館内での利用となります。複写は可能です。

## 1 川のキホン

書名	著[編]者	出版社	出版年月	請求記号
身近な水の環境科学 第2版	日本陸水学会東海支部会／編集	朝倉書店	2022.4	452.9/ミ
防災にも役立つ！川のしくみ	川上真哉／著	誠文堂新光社	2021.1	[児]452/杓
河川工学	風間聡／編著	理工図書	2020.9	517/加
水環境調査の基礎 新版	鈴木裕一[ほか]／著	古今書院	2019.1	452.9/ミ
図説 日本の湿地	日本湿地学会／監修	朝倉書店	2017.6	452.931/社
川はどうしてできるのか 地形のミステリーツアーによるこそ	藤岡換太郎／著	講談社	2014.10	452.94/加
身近な水の環境科学 実習・測定編	日本陸水学会東海支部会／編集	朝倉書店	2014.6	452.9/ミ

水辺と人の環境学 上 川の誕生	小倉紀雄[ほか]／ 編	朝倉書店	2014.1	517/ミ
水辺と人の環境学 中 人々の生活と水辺	小倉紀雄[ほか]／ 編	朝倉書店	2014.1	517/ミ
水辺と人の環境学 下 川から海へ	小倉紀雄[ほか]／ 編	朝倉書店	2014.1	517/ミ
川を巡る -「河川塾」講義録-	宮村忠／著	日刊建設通信新聞社	2013.7	517.21/加
新 川なぜなぜおもしろ読本 ～防水から親水まで～	建設技術研究所／ 編著	ナノオプトニクス・ エナジー出版局	2012.2	517/ソ
川と湖を見る・知る・探る 陸水学入門	日本陸水学会／編	地人書館	2011.9	452.9/加
川の大研究	どりむ社／編	PHP研究所	2010.9	[児]452/加
図説 日本の河川	小倉紀雄[ほか]／ 編	朝倉書店	2010.1	517.21/セ
川と海 流域圏の科学	宇野木早苗[ほか]／ 編	築地書館	2008.6	452.94/加
川のなんでも小事典 川をめぐる自然・生活・技術	土木学会関西支部 ／編	講談社	1998.2	452.94/加
河川地理学	大矢雅彦／著	古今書院	1993.2	452.9/カ
川と日本人 田舎をめぐる謎	竹内均／編	同文書院	1992.11	452.9/イ
川の個性 河川形成のしくみ	須賀堯三／著	鹿島出版会	1992.2	452.9/カ
川の博物誌	高山茂美／著	丸善	1986.7	452.9/Ta56
河川地形	高山茂美／著	共立出版	1974.6	454.3/タ

## 2 川の生きものたち

書名	著[編]者	出版社	出版年月	請求記号
<b>川、水辺の生態学</b>				
人と生態系のダイナミクス 5 河川の歴史と未来	宮下直[ほか]／編	朝倉書店	2021.9	468/ヒ
なぜ田んぼには多様な生き物がすむのか	大塚泰介[ほか]／ 編	京都大学学術出版 会	2020.10	468.04/セ
河川生態学	中村太士／編	講談社	2013.1	468/セ
河川環境の指標生物学	谷田一三／編	北隆館	2010.12	468/セ
湖と池の生物学 生物の適応から群集理論・保全まで	クリスター・ブロン マーク[ほか]／著	共立出版	2007.6	468/ミ
水田生態工学入門	水谷正一／編著	農山漁村文化協会	2007.3	468/シ
水田の生物をよみがえらせる	下田路子／著	岩波書店	2003.1	468/シ
淡水生物の保全生態学 復元生態学に向けて	森誠一／編著	信山社サイテック	1999.11	468/タ

水辺環境の保全 生物群集の視点から	江崎保男／編	朝倉書店	1998.11	468.4/ミ
<b>生きもの全般</b>				
埼玉の里川都幾川の生きものたち	藤田宏之[ほか]／著	まつやま書房	2020.2	[熊]487/ヤ
あらかわの田んぼ図鑑	埼玉県立川の博物館	埼玉県立川の博物館	2012.9	S462/ア
河川生物の絵解き検索 -水生昆虫と小動物- 第3版	エディントン J. M. / 原案	リバーフロント整備センター	2008.10	D486.1/地
ため池と水田の生き物図鑑 動物編	近藤繁生[ほか]／編著	トンボ出版	2005.8	481.75/タ
ため池と水田の生き物図鑑 植物編	浜島繁隆[ほか]／共著	トンボ出版	2005.4	471.74/タ
荒川の動物	埼玉県生態系保護協会／制作	国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所	2004.4	S482/ア
荒川の植物	埼玉県生態系保護協会／制作	国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所	2003.4	S472/ア
水辺の生き物		山と溪谷社	2002.7	[児]481/ミ
川と湖の生き物の飼い方		ピーシーズ	2001.8	481.75/カ
ため池の自然 生き物たちと風景	浜島繁隆[ほか]／編著	信山社サイテック	2001.4	468/タ
川の生物 フィールド総合図鑑	リバーフロント整備センター／編	山海堂	1996.4	460.3/リ
<b>魚類</b>				
埼玉の淡水魚図鑑	知来要／写真 齊藤裕也／編・監修	さわらび舎	2018.11	487.5213/ヤ
よみがえる魚たち	高橋清孝／編著	恒星社厚生閣	2017.6	487.521/ヨ
サケマス・イワナのわかる本 改訂新版	井田齊[ほか]／著	山と溪谷社	2017.5	487.61/サ
淡水魚保全の挑戦 水辺のにぎわいを取り戻す理念と実践	日本魚類学会自然保護委員会／編	東海大学出版部	2016.12	487.521/タ
ウナギの保全生態学	海部健三／著	共立出版	2016.5	487.66/ウ
ウナギと人間	ジェイムズ・プロセック／著	築地書館	2016.5	487.66/ウ
天然アユの本	高橋勇夫[ほか]／著	築地書館	2016.4	487.61/テ
くらべてわかる淡水魚	齊藤憲治／文 内山りゅう／写真	山と溪谷社	2015.2	487.5/ク
河川中流域の魚類生態学	片野修／著	学報社	2014.9	487.51/地
淡水魚研究入門 水中のぞき見学	長田芳和／編著	東海大学出版部	2014.9	487.5/タ
日本の淡水性エビ・カニ 日本産淡水性汽水性甲殻類102種	豊田幸詞[ほか]／著	誠文堂新光社	2014.5	485.3/ニホ
日本鰻検定 クイズで学ぶ、ウナギの教科書	塚本勝巳[ほか]／著	養鰻振興基金のぼり会	2013.7	487.66/ニホ
サケ学大全	帰山雅秀[ほか]／編著	北海道大学出版会	2013.6	487.61/サ
タナゴハンドブック	佐土哲也／文 松沢陽士／写真	文一総合出版	2011.12	487.67/タ

絶体絶命の淡水魚イタセンパラ 希少種と川の再生に向けて	日本魚類学会自然 保護委員会／編	東海大学出版会	2011.1	487.67/㊦
渡良瀬遊水地の魚図鑑	渡良瀬遊水地アクリ メーション振興財団／ 編	渡良瀬遊水地アクリ メーション振興財団	2009.12	S487/㊦
アユ学 アユの遺伝的多様性の利用と保全	谷口順彦／著	築地書館	2009.10	4878.61/㊦
川と海を旅する魚たち	水辺の教育メディア 研究会／企画・編集	埼玉県立川の博物 館	2009.9	S487/㊦
川と湖の回遊魚ビワマスの謎を探る	藤岡康弘／著	サンライズ出版	2009.3	487.61/㊦
春の小川の淡水魚 その生息場と保全	水谷正一[ほか]／ 編著	学報社	2009.1	487.5/㊦
イワナをもっと増やしたい！ 「幻の魚」を守り、育て、利用する新しい方法	中村智幸／著	フライの雑誌社	2007.12	487.61/㊦
アユ百万匹がかえってきた いま多摩川でおきている奇跡	田辺陽一／著	小学館	2006.4	517.2136/㊦
メダカはどのように危機を乗り越えるか	端憲二／著	農山漁村文化協会	2005.2	487.51/㊦
川魚完全飼育ガイド	秋山信彦[ほか]／ 共著	エムピージェー	2003.3	487.5/㊦
メダカと日本人	岩松鷹司／著	青弓社	2002.5	487.71/㊦
メダカが消える日 自然の再生をめざして	小澤祥司／著	岩波書店	2000.4	487.71/㊦
<b>昆虫</b>				
昆虫と自然 2022年4月 特集「湿地の昆虫とその多様性」		ニューサイエンス社	2022.4	雑誌
昆虫と自然 2020年8月 特集「日本産水生甲虫類研究の現状と展望」		ニューサイエンス社	2020.8	雑誌
昆虫と自然 2019年6月 特集「アメンボの研究最前線」		ニューサイエンス社	2019.6	雑誌
ヤゴハンドブック	尾園暁[ほか]著	文一総合出版	2019.4	486.39/㊦
ホタルの不思議な世界	サラ・ルイス／著	エクスナレッジ	2018.7	486.6/㊦
水生半翅類の生物学	大庭伸也／編集	北隆館	2018.6	486.5/㊦
タガメ・ミズムシ・アメンボハンドブック	三田村敏正[ほか] ／著	文一総合出版	2017.7	486.5/㊦
トンボのすべて 新装改訂版	井上清[ほか]／共 著	トンボ出版	2017.6	486.39/㊦
ゲンゴロウ・ガムシ・ミズスマシハンドブック	三田村敏正[ほか] ／著	文一総合出版	2017.6	[熊]486/㊦
昆虫と自然 2016年6月臨時増刊 特集「危機に立つ水生昆虫」		ニューサイエンス社	2016.6	雑誌
トンボの生態学	渡辺守／著	東京大学出版会	2015.1	486.39/㊦
ホタルの不思議	大場信義／著	どうぶつ社	2009.7	486.6/㊦
フライマンのための水生昆虫入門	田代忠之[ほか]／ 写真	地球丸	2008.2	486/㊦
トンボと自然観	上田哲行／編	京都大学学術出版 会	2004.11	486.39/㊦

水辺の昆虫－トンボ－	埼玉県立自然史博物館／編	埼玉県立自然史博物館	2004.7	S486/ミ
ホタル百科	東京ゲンジボタル研究所／著	丸善	2004.5	486.6/枡
水生昆虫の世界 淡水と陸上をつなぐ生命	大串龍一／著	東海大学出版会	2004.2	486/ス
トンボ 日本人に愛されてきた水辺のハンター	栃木県立博物館／編	栃木県立博物館	2003.7	D486.39/ト
ホタルの木	大場信義／著	どうぶつ社	2003.5	486.6/枡
ほたる 源氏螢全記録	栗林慧／著	学習研究社	2003.5	D486.6/枡
トンボの不思議	新井裕／著	どうぶつ社	2001.7	486.39/ト
原色 川虫図鑑	丸山博紀[ほか]／著	全国農村教育協会	2000.7	486.038/川
水生昆虫完全飼育・繁殖マニュアル 改訂版	都築裕一[ほか]／編	データハウス	2000.6	486/ス
荒川流域の水生昆虫	荒川流域ネットワーク実行委員会	荒川流域ネットワーク実行委員会	1999.3	S486/ア
カゲロウのすべて	岡崎博文／著	トンボ出版	1997.5	486.37/カ
<b>両生類</b>				
減り続けなければなくなる!?日本サンショウウオ探検記	関慎太郎／写真・文	少年写真新聞社	2021.5	[児]487/ハ
減っているってほんと!?日本カエル探検記	関慎太郎／写真・文	少年写真新聞社	2019.5	[児]487/ハ
Newton2015年5月号 p68-83「オオサンショウウオ 謎多き世界最大の両生類」		ニュートンプレス	2015.5	雑誌
カエルはお腹で水を飲む?	長井孝紀／著	養賢堂	2015.3	487.85/加
爬虫両生類の上手な飼い方	富水明／著	エムピージェー	2014.6	487.9/ハ
とちぎのカエルとサンショウウオ	栃木県立博物館／編	栃木県立博物館	2012.7	D487.8/ト
知られざる動物の世界4 サンショウウオ・イモリ・アシナシイモリのなかま	松井正文／監訳	朝倉書店	2011.6	480/シ
あらかわのカエル・サンショウウオ	埼玉県立川の博物館	埼玉県立川の博物館	2009.3	S487/ア
爬虫・両生類飼育ガイド カエル	松園純／著	誠文堂新光社	2008.9	487.85/加
これからの両棲類学	松井正文／編	裳華房	2005.8	487.8/ル
大山椒魚	内山りゅう／著	ビブロス	2003.11	D487.8/材
ザ・カエル 世界のカエルの飼育がわかる本	田向健一／著 松橋利光／写真	誠文堂新光社	2003.3	487.85/カ
カエル－水辺の隣人	松井正文／著	中央公論新社	2002.6	487.85/加
日本のカエル +サンショウウオ類	松橋利光／写真 奥山風太郎／解説	山と溪谷社	2002.4	487.85/コ
カエルのきもち	千葉県立中央博物館／監修	晶文社出版	2000.7	487.85/加



カエルの不思議発見	松井孝爾／著	講談社	1999.6	487.85/加
カエルが消える	キャサリン・フィリップス／著	大月書店	1998.8	487.85/加
両生類の進化	松井正文／著	東京大学出版会	1996.2	487.8/マ
イモリと山椒魚の博物誌	碓井益雄／著	工作舎	1993.2	487.8/イ
オオサンショウウオシンポジウム報告書	兵庫県自然保護協会／編	兵庫県自然保護協会	1992.7	487.8/オ
大山椒魚	小原二郎／著	どうぶつ社	1985.4	487.8/オ
<b>鳥類</b>				
BIRDER 2022年4月 特集「カワセミ類完全攻略」		文一総合出版	2022.4	雑誌
タカ・ハヤブサ・フクロウ ～荒川流域の猛禽類～	埼玉県立川の博物館／編	埼玉県立川の博物館	2020.9	S488/カ
水辺の鳥を観察しよう！ 湖や池・河川・海辺の鳥	飯村茂樹／著	PHP研究所	2017.8	[児]488/ミヌ
カワセミの子育て 自然教育園での繁殖生態と保護飼育	矢野亮／著	地人書館	2009.11	488.93/カ
渡良瀬遊水地の野鳥図鑑	渡良瀬遊水池アクリメーション振興財団／編	渡良瀬遊水池アクリメーション振興財団	2009.2	S488/ワ
カワセミ 青い鳥見つけた	嶋田忠／文・写真	新日本出版社	2008.11	[児]488/カ
水辺の宝石かわせみ	さいたま川の博物館／編	さいたま川の博物館	2006.3	S488/ミヌ
カワセミ物語	若尾親／著	河出書房新社	2001.7	488.93/カ
ヤマセミ	高橋力／著	平凡社	1999.10	488.93/マ
渡良瀬川の野鳥	蔵原惟光／著	やまいぼ社	1991	D488/ク

### 3 埼玉県を流れる川

書名	著〔編〕者	出版社	出版年月	請求記号
日本のかわと河川技術を知る～利根川～	土木学会水工学委員会日本のかわと河川技術を知る(利根川)編集委員会／編	土木学会	2012	517.213/ニホ
川の国埼玉魅力100選	埼玉県県土整備部河川砂防課	埼玉県県土整備部河川砂防課	2008	S517.2/カ
彩の国の河川 知る知るマニュアル	埼玉県県土整備部河川砂防課	埼玉県県土整備部河川砂防課	2002.3	S517.2/サイ
荒川上空の旅	関東地方建設局荒川上流工事事務所	建設省関東地方建設局荒川上流工事事務所	2000.3	S517.2/アラ
利根川	北野進／編	雄山閣出版	1999.3	517.213/トネ
甲武信源流物語	さいたま川の博物館(埼玉県立)	さいたま川の博物館	1999.3	S382.48/コ
利根川322キロの旅	上毛新聞社／〔ほか〕編集	「利根川322キロの旅」刊行委員会	1997.8	S290.1/トネ

利根川の歴史	金井忠夫／著	日本図書刊行会	1997.2	517.213/ト
荒川 169キロのみちのり	毎日新聞浦和支局／編	さきたま出版会	1996.2	S290.1/ア
中川水系 総論・自然	埼玉県／編	埼玉県	1993.2	S517/ナ
荒川 自然	埼玉県／編	埼玉県	1987.3	S290/ア

## 4 川に親しむ

書名	著〔編〕者	出版社	出版年月	請求記号
川と流域の地理学	林上／著	風媒社	2021.10	452.94/カ
下野の水路 鬼怒川水系をゆく	竹末広美／著	随想舎	2021.6	517.2132/ワ
つながる川と海と人 ～あそぶ・親しむ・守る～	千葉県立関宿城博物館／編	千葉県立関宿城博物館	2016.10	D517.213/ツ
河川の管理と空間利用	吉川勝秀／著	鹿島出版会	2009.9	517.091/カ
心やすらぐ日本の風景疏水百選	疏水ネットワーク／著	PHP研究所	2007.10	517.6/コ
多自然型川づくりを越えて	吉川勝秀／編著	学芸出版社	2007.4	517/タ
水辺のまつり 受け継がれてきた川への祈り	埼玉県立川の博物館	埼玉県立川の博物館	2007.3	S386/ミ
里川の可能性 利水・治水・守水を共有する	鳥越皓之〔ほか〕／編	新曜社	2006.10	517.04/ホ
水路の造形美 水の恵みをうける日本の原風景を求めて	渡部一二／著	東海大学出版会	2006.10	517.21/シ
私たちの「いい川・いい川づくり」最前線	「いい川・いい川づくり」研究会／編著	学芸出版社	2004.7	517/ヲ
木曾川は語る 川と人の関係史	木曾川文化研究会／著	風媒社	2004.4	517.215/キ
生きている水路 その造形と魅力	渡部一二／著	渡部一二／著	2003.4	517.21/ト
もっと知りたい！水の都京都	鈴木康久〔ほか〕／編	人文書院	2003.2	517.2162/キ
「川」が語る東京 人と川の環境史	東京の川研究会／編	山川出版社	2001.12	517.2136/カ
川に親しむ	松浦秀俊／著	岩波書店	2000.7	[児]452/カ
川の歳時記	岡村直樹／著	北斗出版	1999.4	517.21/カ
川と風土 日本人の心の源流をもとめて	リバーフロント整備センター／編	リバーフロント整備センター	1998.3	452.94/カ
日本水遊記	石川雄一郎／文・写真	農山漁村文化協会	1989.10	452.9/ニ

## 5 川と川の生きものについて調べる

リストにあげた資料以外の、川と川の生きものを調べることができる参考図書や、ウェブサイトの一部を紹介します。

アイコンの説明： 参考図書(館内閲覧のみ)  インターネット情報(情報はリスト作成時点のもの)

### (1)川について

 R517.033/加 『川の百科事典』(高橋裕[ほか]編 丸善 2009)

川遊びから水理学の専門用語まで、「川」に関連した内容を幅広く網羅した百科事典。日本・世界の河川、湖沼・ダム・人名など川に関わる固有名詞も多数収録。河川工学、生態学、環境問題、民俗学の観点から解説。

 R517.033/セ 『全世界の河川事典』(高橋裕[ほか]編 丸善出版 2013)

国内は都道府県ごとに、海外は国ごとに河川・湖沼、放水路、運河、疎水、用水路を採録し、それぞれ基本情報と特徴を解説している。日本国内は約3,000、海外は約1,000の河川・湖沼を収録。

 《荒川上流河川事務所》(<https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo/> 国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所)


 《利根川上流河川事務所》  
(<https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/> 国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所)

荒川または利根川の歴史や自然、関連用語の解説のほか、ライブカメラや水位、雨量といったリアルタイム情報も確認することができます。


 《埼玉県立川の博物館》(<https://www.river-museum.jp/> 埼玉県立川の博物館)

荒川を主として、河川や水と人々の暮らしとのかかわりについて様々な体験を通して、学べる施設。《おうちミュージアム》では、学芸員による展示解説動画や映像資料などを公開。


### (2)川の生きものについて

 R487.521/ニホ 『日本の淡水魚 増補改訂』(細谷和海編・監修 山と溪谷社 2019)

日本の淡水魚を網羅する基本図鑑。315種・亜種を掲載。形態、生態、分布、各魚種を取り巻く環境や、各種レッドリストにおけるカテゴリーを記載。

 R486.038/ニホ 『日本産水生昆虫 科・属・種への検索 1、2、索引 第2版』  
(川合禎次[ほか]共編 東海大学出版部 2018)

日本産水生昆虫11目141科を収録。最新の分類法に基づき、体長・分布域など種の特徴記載が充実。一部の種では写真による検索も可能。

 R487.85/ニホ 『日本産カエル大鑑』(松井正文解説 前田憲男写真 文一総合出版 2018)

最新のDNA分類に基づき、2018年現在に国内で確認されている48種類のカエルすべてを収録。生態や鳴き声といった詳細な解説のほか、卵・幼生・幼体の写真も全種掲載。

 R487.9/ケン 『原色爬虫類・両生類検索図鑑』(高田榮一[ほか]著 北隆館 2011)

爬虫類と両生類の基本的な特徴と見分け方から、種や生態について解説。比較的遭遇しやすく個体変異の多いものは写真を多く掲載。飼育の基本についても解説。

 R488.038/フイ 『フィールドのための野鳥図鑑 水辺の鳥』(高木清和著 山と溪谷社 2002)

日本の水辺で見ることができる野鳥について、体の部位の特徴を簡潔に解説。生息環境と出現期、鳴き声なども掲載。1種ごとの写真も多い。

 《生物多様性情報システム》(<https://www.biodic.go.jp/index.html> 環境省自然環境局 生物多様性センター)

日本の生物多様性や自然環境に関するさまざまな情報を収集し、広く提供するためのシステム。市区町村区分での自然環境保全基礎調査(緑の国勢調査)の検索機能やレッドデータブックなどを掲載。

 《ナレッジリンク》(<http://www.knowledgeline.co.jp/> 株式会社ナレッジリンク)

魚類・哺乳類・爬虫類・両生類をキーワード、目科属性、生息地域、形状から検索可能な『インターネット図鑑「自然界」』や名前や形から検索できる子ども向けの『どうぶつずかん』などを掲載。